

『第2回地域意見聴取の概要』

1. ヒアリング調査結果（後志管内市町村・関係団体）・・・ 2
2. アンケート調査結果（属性・回収率等）・・・19
3. アンケート調査結果（沿線7町、その他市町村）・・・24

1. ヒアリング調査結果

(後志管内市町村・関係団体)

1) ヒアリング概要

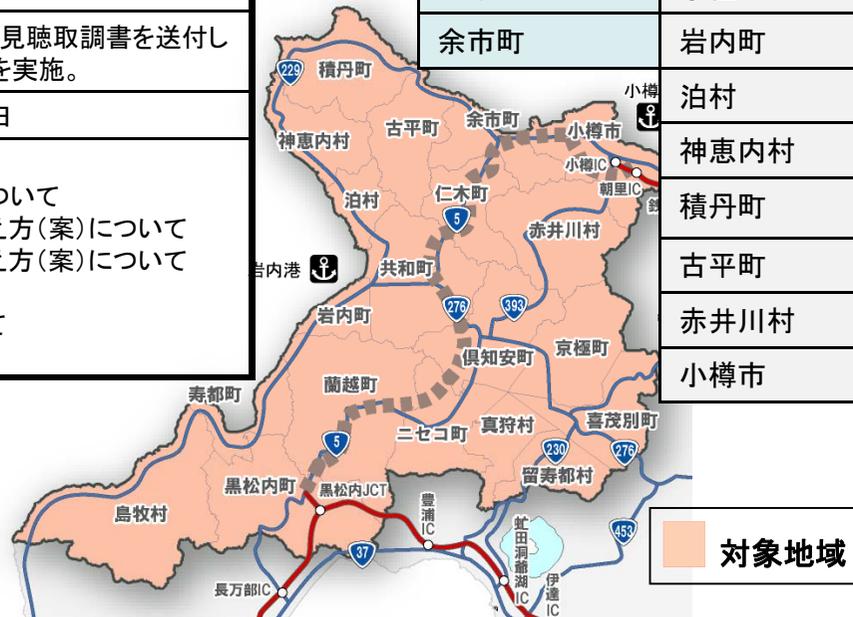
- 直接的に関係する沿線自治体(7町)に加え、地域課題として共通認識を持つと想定される後志地域のその他自治体(13市町村)を選定。
- 政策目標(案)と関連性の高い各団体を選定

対象機関	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線自治体7町 ■その他自治体13市町村 ■関係16団体 <ul style="list-style-type: none"> ・小樽市商工会議所 ・岩内町商工会議所 ・黒松内町商工会 ・ニセコ町商工会 ・仁木町商工会 ・手稲溪仁会病院 ・岩内・寿都地方消防組合 ・北海道バス協会 ・余市町商工会議所 ・倶知安町商工会議所 ・蘭越町商工会 ・共和町商工会 ・(社)北海道トラック協会 ・北後志消防組合 ・羊蹄山消防組合 ・後志観光連盟
実施方法	事前に設問を記した地域意見聴取調書を送付し、記入後に面談で聞き取りを実施。
実施期間	平成23年9月7日～10月27日
設問項目	<ul style="list-style-type: none"> ■政策目標(案)について ■当面の整備方針(案)について ■通過位置の基本的な考え方(案)について ■連結位置の基本的な考え方(案)について ■比較ルート(案)について ■高規格の利活用について ■その他ご意見

▼調査先

沿線7町	その他後志管内13市町村
黒松内町	島牧村
蘭越町	寿都町
ニセコ町	真狩村
倶知安町	留寿都村
共和町	喜茂別町
仁木町	京極町
余市町	岩内町
	泊村
	神恵内村
	積丹町
	古平町
	赤井川村
	小樽市

関係団体	
	岩内・寿都地方消防組合
	羊蹄山ろく消防組合
	北後志消防組合
(社)北海道商工会議所連合会	小樽商工会議所
	余市商工会議所
	倶知安商工会議所
	岩内商工会議所
北海道商工会連合会	仁木町商工会
	共和町商工会
	ニセコ町商工会
	蘭越町商工会
	黒松内町商工会
	手稲溪仁会病院
	(社)北海道バス協会
	(社)北海道トラック協会
	後志観光連盟



2) 政策目標(案)について

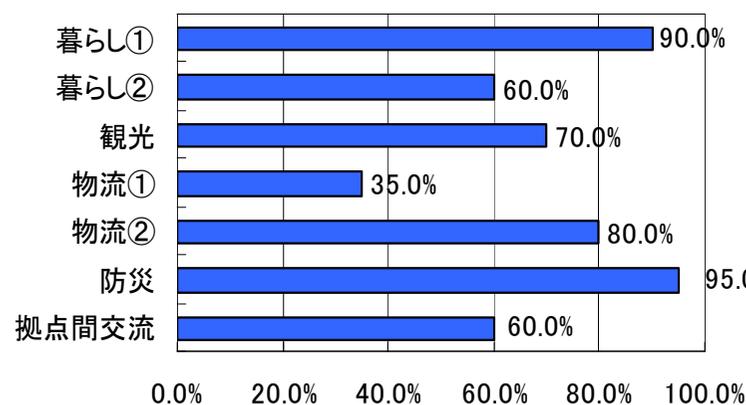
【設問 1】

後志地域の政策目標を設定しましたが、重要だと思われるものを全てお選び下さい。(複数回答)

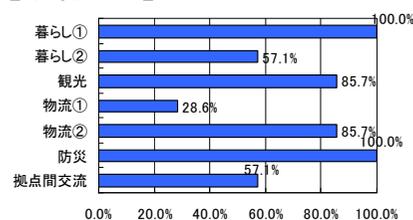
【結果】 ▼市町村・関係団体ヒアリング

選択項目【政策目(標案)】	市町村計	沿線7町	その他市町村	関係団体	
1. 暮らし①: 後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮	18	7	11	14	
2. 暮らし②: 市街地、線形不良区間における走行性向上	12	4	8	12	
3. 観光: 新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性向上	14	6	8	9	
4. 物流①: 国際コンテナの通行支障区間の解消	7	2	5	8	
5. 物流②: 峠部・市街地部などの通行支障区間解消による速達性・安全性の向上	16	6	10	11	
6. 防災: 北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認	19	7	12	14	
7. 拠点間交流: 道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保	12	4	8	9	
8. 未回答	0	0	0	0	
合計	98	36	62	77	
	回答者総数(人)	98	36	62	77
	うち自由回答(人)	0	0	0	0

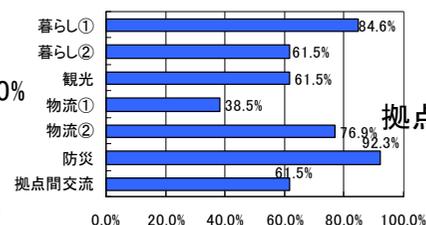
【市町村】 N=20



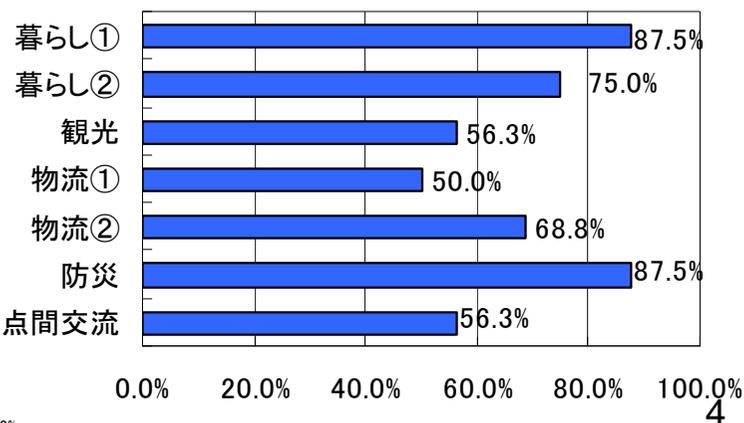
【沿線7町】 N=7



【その他市町村】 N=13



【関係団体】 N=16



3) 政策目標(案)について

▼政策目標(案)における意見状況

市町村名 設問	沿線7町							その他後志管内13市町村													
	黒松内町	蘭越町	ニセコ町	倶知安町	共和町	仁木町	余市町	小樽市	島牧村	寿都町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	岩内町	泊村	神恵内村	積丹町	古平町	赤井川村	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	○		○	○		○			○		○	○		○	○		○	○	○		
3	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○			○		○		○
4	○			○					○		○			○			○		○		
5	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
7			○	○		○	○	○	○	○				○		○	○		○		
8																					

団体名 設問	商工会議所				商工会					観光関係団体		物流関係団体	医療関係団体				
	小樽商工 会 議 所	余市商工 会 議 所	岩内商工 会 議 所	倶知安 商工 会 議 所	黒松内町 商 工 会	蘭越町 商工 会	ニセコ町 商 工 会	共和町 商 工 会	仁木町 商 工 会	後志観 光連 盟	北海 道 道 協 会	北海 道 道 協 会	手稲 仁 会 院	北 後 志 消 防 組 合	岩 内 ・ 羊 山 消 防 組 合	蹄 ろ く 消 防 組 合	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
2	○	○		○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	
3	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○						
4	○		○	○	○		○	○	○	○		○					
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			
6	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	○	○		○	○			○	○	○	○		○		○		
8																	

4) 当面の整備方針(案)について

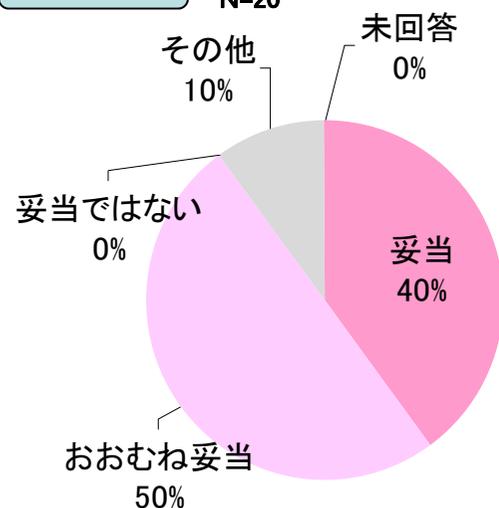
【設問2】

政策目標を効果的に達成していくため、当面の整備方針として「政策目標に対する現道の使われ方からの評価」や「現道課題からの評価」を行い、課題が大きい区間(倶知安～余市間)については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間(黒松内～倶知安間)については、当面現道を活用する案を設定しましたが、あてはまるものを一つお選びください。

【結果】 ▼市町村・関係団体ヒアリング

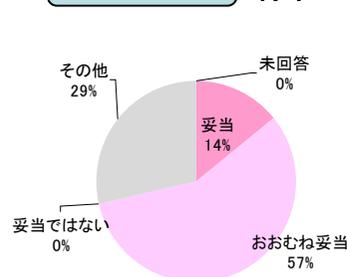
選択項目【当面の整備方針(案)について】	市町村計	沿線7町	その他市町村	関係団体	その他のフリーアンサー
①. 妥当	8	1	7	12	0
②. おおむね妥当	10	4	6	3	0
③. 妥当ではない	0	0	0	0	0
④. その他	2	2	0	1	3
⑤. 未回答	0	0	0	0	0
合計	20	7	13	16	3
回答者総数(人)	20	7	13	16	3
うち自由回答(人)	2	2	0	1	3

市町村 N=20

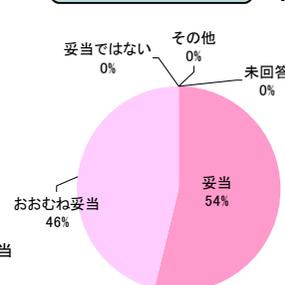


回答者総数(人)
うち自由回答(人)

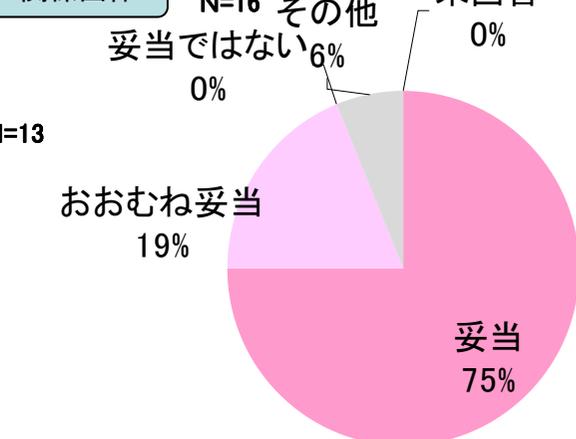
沿線7町 N=7



その他市町村 N=13



関係団体 N=16



5) 当面の整備方針(案)について

▼当面の整備方針における意見状況

市町村名 設問	沿線7町						その他後志管内13市町村													
	黒松内町	蘭越町	ニセコ町	倶知安町	共和町	仁木町	余市町	小樽市	島牧村	寿都町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	岩内町	泊村	神恵内村	積丹町	古平町	赤井川村
①	○							○	○	○	○				○			○	○	
②		○	○		○	○						○	○	○		○	○			○
③																				
④				○			○													
⑤																				

団体名 設問	商工会議所				商工会					観光関係団体		物流関係団体	医療関係団体				
	小樽商工議所	余市商工議所	岩内商工議所	倶知安商工議所	黒松内町商工会	蘭越町商工会	ニセコ町商工会	共和町商工会	仁木町商工会	後志観光連盟	北海道バス協会	北海道トラック協会	手稲病院	稲会院	北後志消防組合	岩内・寿都地方消防組合	羊山消防組合
①			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○
②	○	○				○											
③																	
④								○									
⑤																	

▼当面の整備方針におけるその他のフリーアンサー

市町村名・団体名	その他意見
倶知安町	妥当である。しかし、全線別線整備により政策目標を達成することが必要との前提の上での「妥当」であることを確認させていただきたい。
余市町	基本的には全線別線による整備をお願いしたいと考えている。本整備方針(案)を全面的に否定するわけではないが、黒松内から倶知安間については当面現道を活用し段階的に別線整備していくとしている本整備方針(案)の中で、最終的な全線別線による早期整備が担保されるような記述も必要ではないか。
仁木町商工会	道路は全線が繋がってはじめて効果が現れます、この北海道横断自動車道余市黒松内間は地域が求めている理由以外に道央道南を結ぶ幹線高速道路として札幌函館本州間を結ぶ最短距離(道央道より66km短い)である。

6) 通過位置の基本的な考え方(案)について

【設問3】

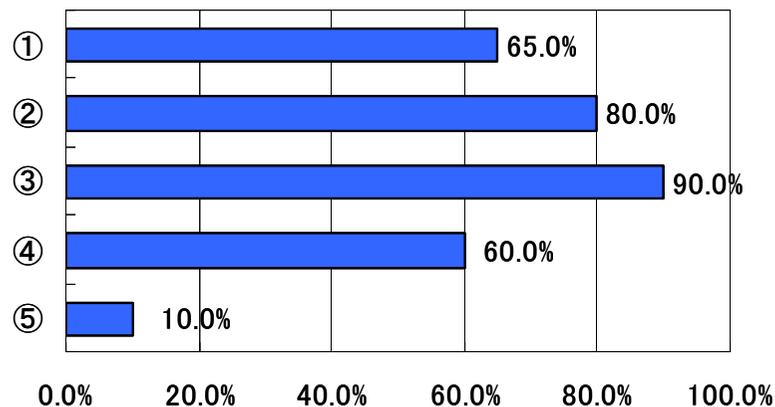
通過位置(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

【結果】

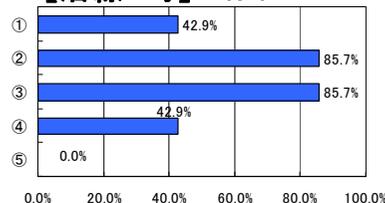
▼市町村・関係団体ヒアリング

選択項目【通過位置の基本的な考え方(案)について】	市町村計	沿線7町	その他市町村	関係団体	その他のフリーアンサー
①. 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮	13	3	10	12	0
②. 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮	16	6	10	11	0
③. 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮	18	6	12	12	0
④. その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮	12	3	9	7	0
⑤. その他(具体的な内容記入)	2	0	2	2	4
⑥. 未回答	0	0	0	0	0
合計	61	18	43	44	4
回答者総数(人)	20	7	13	16	4
うち自由回答(人)	2	0	2	2	4

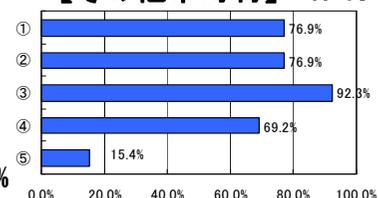
【市町村】 N=20



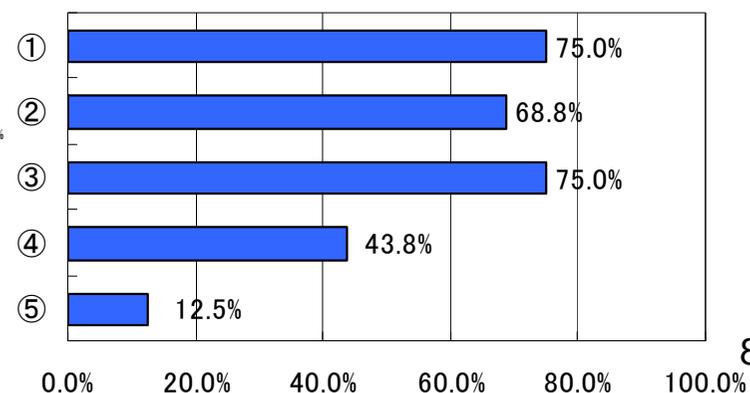
【沿線7町】 N=7



【その他市町村】 N=13



【関係団体】 N=16



7) 通過位置の基本的な考え方(案)について

▼通過位置の基本的な考え方(案)における意見状況

市町村名 設問	沿線7町						その他後志管内13市町村													
	黒松内町	蘭越町	ニセコ町	倶知安町	共和町	仁木町	余市町	小樽市	島牧村	寿都町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	岩内町	泊村	神恵内村	積丹町	古平町	赤井川村
①	○	○		○				○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	
②	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
③	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
④	○			○		○		○	○	○	○	○		○			○	○	○	
⑤																	○			
⑥																				○

団体名 設問	商工会議所				商工会					観光関係団体		物流関係団体	医療関係団体				
	小樽商工 会 議 所	余市商工 会 議 所	岩内商工 会 議 所	倶知安 商 工 会 議 所	黒松内町 商 工 会	蘭越町 商 工 会	ニセコ町 商 工 会	共和町 商 工 会	仁木町 商 工 会	後志観 光連盟	北海道 バス協 会	北海道 トラック 協 会	手 稲 溪 仁 会 病 院	北 後 消 防 組 合	志 後 消 防 組 合	岩 内 ・ 寿 都 地 方 消 防 組 合	羊 蹄 山 ろ く 消 防 組 合
①	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		
②	○	○		○		○	○		○	○	○	○		○	○		
③	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○		
④	○		○	○	○				○	○			○				
⑤									○								○
⑥																	

▼通過位置の基本的な考え方(案)におけるその他のフリーアンサー

市町村名 ・団体名	その他意見
神恵内村	防災上の観点からも配慮していただきたい。
赤井川村	概ね妥当と思われるので、総合的に判断してもらいたい。
仁木町商工会	サービスエリア等は地域の附帯施設を最大限活用する。全車ETC化を図りスマートICで地域の施設を活用すると共に地域の活性化に寄与することで共にさかえる道路としてモデルにしては如何ですか。
羊蹄山ろく 消防組合	短時間で市街地へアクセス可能となるよう考慮

8) 連結位置の基本的な考え方(案)について

【設問4】

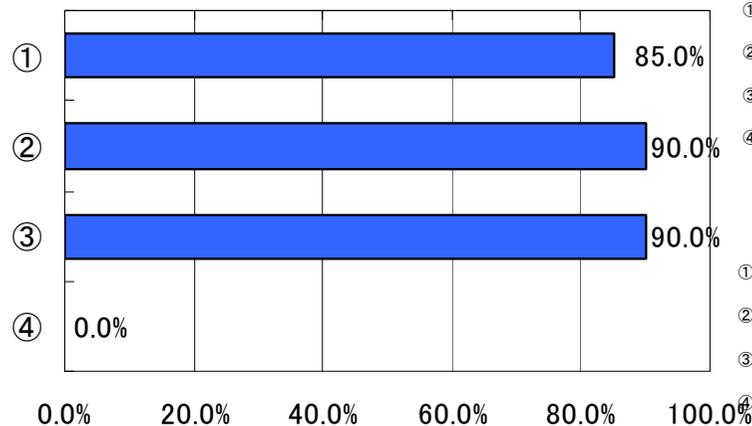
連結位置の基本的な考え方(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

【結果】 ▼市町村・関係団体ヒアリング

(注)「その他のフリーアンサー」:④以外の複数を選択した上で記載している箇所は、選択した箇所すべてに括弧書きで件数を記載

選択項目【連結位置の基本的な考え方(案)について】	市町村計	沿線7町	その他市町村	関係団体	その他のフリーアンサー
①. 市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性	17	5	12	9	(2)
②. 各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な主要幹線道路との接続	18	7	11	13	(1)
③. 災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続	18	7	11	12	(2)
④. その他(具体的な内容記入)	0	0	0	4	4
⑤. 未回答	0	0	0	0	6
合計	53	19	34	38	6
回答者総数(人)	20	7	13	16	6
うち自由回答(人)	2	1	1	4	6

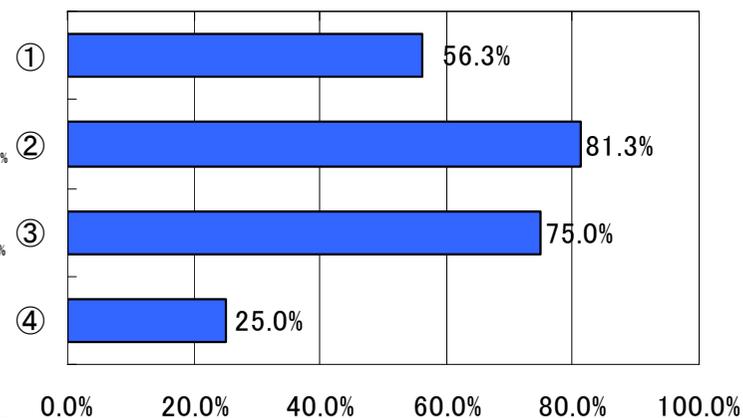
【市町村】 N=20



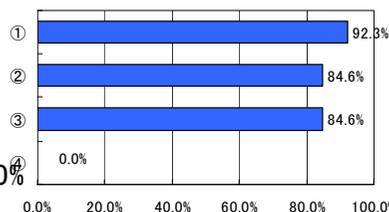
【沿線7町】 N=7



【関係団体】 N=16



【その他市町村】 N=13



(注)複数回答可能のため、全回答者数に対する選択率で表示

9) 連結位置の基本的な考え方(案)について

▼連結位置の基本的な考え方(案)における意見状況

市町村名 設問	沿線7町						その他後志管内13市町村													
	黒松内町	蘭越町	ニセコ町	倶知安町	共和町	仁木町	余市町	小樽市	島牧村	寿都町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	岩内町	泊村	神恵内村	積丹町	古平町	赤井川村
①	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
②	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
④																				
⑤																				

団体名 設問	商工会議所					商工会				観光関係団体		物流関係団体	医療関係団体					
	小樽商工会議所	余市商工会議所	岩内商工会議所	倶知安商工会議所	安工所	黒松内町商工会	蘭越町商工会	ニセコ町商工会	共和町商工会	仁木町商工会	後志観光連盟	北海道バス協会	北海道トラック協会	手稲病院	北後志消防組合	岩内・寿都地方消防組合	羊山消防組合	蹄ろく消防組合
①	○	○			○	○		○	○	○	○					○		
②	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
③	○	○			○	○		○		○	○		○	○	○	○	○	
④				○	○					○		○						
⑤																		

▼連結位置の基本的な考え方(案)におけるその他のフリーアンサー

市町村名・団体名	その他意見
仁木町	フルーツパークにき～オアシスパーク or IC、道道仁木赤井川線～IC
赤井川村	強いてあげるとすれば、岩宇方面への利用を想定し、可能であれば銀山付近にあると便利ではないか。
岩内商工会議所	岩内地区は冬期間災害時において現道が通行止めの際にバイパス的役割を果たす道路にしてもらいたい。
倶知安商工会議所	各市町村1カ所必要
仁木町商工会	特定な市町村に利するのでなく地域の道路の計画に沿ってICを設置して載きたい。ICを降りて国道に出るのに踏切・狭い市街地を経由する計画は事故防止の観点から配慮して載きたい。
北海道バス協会	新幹線駅との接続。

10) 比較ルート(案)について

【設問5】

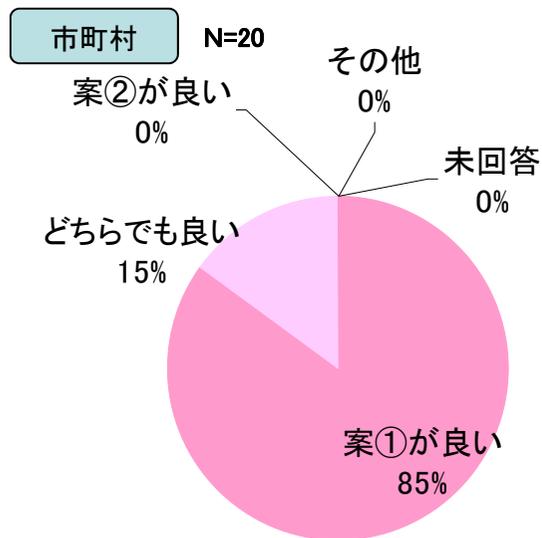
当面の整備方針(案)をもとに、別線整備が必要な区間として『倶知安～余市IC』を設定し比較ルートを設定しましたが、2つの案についてどう思われますか。あてはまるものを一つお選びください。

【案①】共和町・岩内町方面(国道276号)からのアクセス性を重視したルート

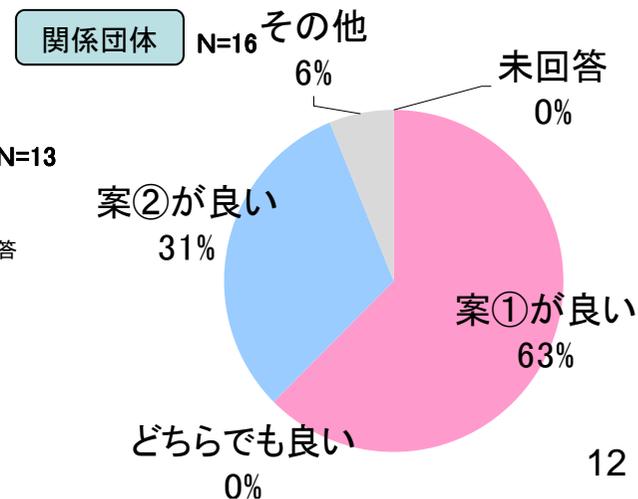
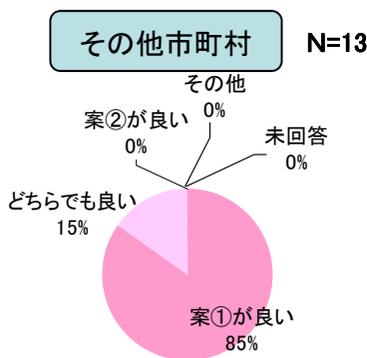
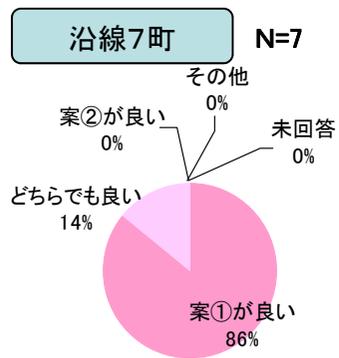
【案②】道央と道南方面を連絡する際など路線延長短縮による時間短縮を重視したルート

【結果】 ▼市町村・関係団体ヒアリング

選択項目【比較ルート(案)について】	市町村計	沿線7町	その他市町村	関係団体	その他のフリーアンサー
1. 案①が良い	17	6	11	10	2
2. 案②が良い	0	0	0	5	0
3. どちらでも良い	3	1	2	0	1
4. その他(具体的な内容記入)	0	0	0	1	1
5. 未回答	0	0	0	0	0
合計	20	7	13	16	4
回答者総数(人)	20	7	13	16	4
うち自由回答(人)	2	1	1	2	4



回答者総数(人)
うち自由回答(人)



11) 比較ルート(案)について

▼比較ルート(案)における意見状況

市町村名 設問	沿線7町						その他後志管内13市町村													
	黒松内町	蘭越町	ニセコ町	倶知安町	共和町	仁木町	余市町	小樽市	島牧村	寿都町	真狩村	留寿都村	喜茂別町	京極町	岩内町	泊村	神恵内村	積丹町	古平町	赤井川村
①	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
②																				
③		○									○									○
④																				
⑤																				

団体名 設問	商工会議所					商工会					観光関係団体		物流関係団体	医療関係団体					
	小樽商工会議所	余市商工会議所	岩内商工会議所	倶知安商工会議所	安工所	黒松内町商工会	蘭越町商工会	ニセコ町商工会	共和町商工会	仁木町商工会	後志観光連盟	北海道バス協会	北海道トラック協会	手稲病	稲会院	北後志消防組合	岩内・寿都地方消防組合	羊山消防組合	蹄ろく消防組合
①	○		○	○			○					○	○	○	○	○		○	
②		○				○		○	○										
③																			
④										○									
⑤																			

▼比較ルート(案)におけるその他のフリーアンサー

市町村名・団体名	その他意見
余市町	原子力発電所を有する後志地域においては、防災の観点からの災害時における避難ルートとしての利用も考慮した国道276号からのアクセス性を重視したルートが望ましいものとする。
赤井川村	少しでも時間が速くなるほうが良い。
岩内商工会議所	岩内町・共和町は、この道路が住民の命を守る重要な道路である国富市街地へ向かうルートを希望します。
後志観光連盟	「共和町・岩内方面のアクセス性」、「道央・道南方面の時間短縮」はいずれも地域にとって重要な課題であるため、地域意見を充分配慮したうえで決定していただきたい。

12) 高規格道路の利活用について

問6. (自治体)北海道横断自動車道(黒松内～余市)が整備された場合、どのように利用して地域活性化を図ることが考えられるか、まちづくりの視点からお考えをお聞きした。

※なお、ご意見について、政策目標に関する記載を次の分類で着色させていただいた **医療** **観光** **物流** **防災** **拠点間交流**

町村名	道路整備による利活用に関する意見
黒松内町	<p>本町は平成の歩みと時を同じくして、歌オプナ林をまちの象徴として位置づけ、牧歌的農村風景や地域の生活文化等の資源を活かした都市と農村の交流をまちづくりの基本理念とするヨーロッパ型の農村づくり「プナ北限の里づくり構想」に着手し、交流施設の整備を中心とするハード整備と食の提供やイベントなどのソフトの展開に取り組み、現在年間約15万人の交流人口があります。</p> <p>近年は、生物多様性の保全・管理の視点で安全・安心な農畜産物の生産に加え地産地消、食農教育、6次産業化といったテーマで土着性のあるオリジナルの食を、生産者、製造者、料理人などの地元の人々との会話を交えて提供し、さらに、来訪者自らも様々な体験をでき来訪を喚起させるエコツーリズム、着地型観光の取組もスタートさせました。また、農的暮らしやスローライフを目指し田舎に移住、二地域居住される方々の誘致にも積極的に取り組んでいます。耐久性の購入など都市部とのアクセス性に優れることは、場所の選択の際の優位性につながります。</p> <p>これら移住や滞在・滞留型の交流の推進による地域活性化に、ヨーロッパのように都市部と田舎が高速道路網によって短時間で結ばれることのメリットを最大限活かしたいと考えています。</p>
蘭越町	<p>後志地域は、大都市札幌と道南圏との中間に位置し、豊かな自然に恵まれており、後志の基幹産業である農業は、水稻・畑作をはじめ、野菜・果樹・酪農・畜産など経営形態が多岐にわたって、農産物を生産している。このような中において、蘭越町も、米をはじめとする質の高い新鮮な農水産物を首都圏へ供給する食糧生産基地であり、高規格道路の利活用により、新鮮かつ迅速な輸送が可能となり、物流の利便性が大きく図られるものと期待される。また、小樽や札幌圏への通勤も可能となり、定住・移住の推進とともに、地域交流並びに町の活性化が期待される。さらに、高規格道路の利活用により、高次医療施設へのアクセス性も向上され、医療の過疎化の歯止めとなり、医療救急体制が充実されることが期待される。この黒松内・余市間の整備が実現されれば、その効果は、後志管内にとどまらず、医療や物流、観光など、いろいろな面で道央圏域の環状機能が高まることが期待される。</p>
二セコ町	<p>小樽札幌方面や新千歳空港などからの二セコエリアへの移動時間の短縮により国際リゾート地としての魅力が、より一層向上し、新たな観光振興を含め、観光客等の増加が期待できる。また、交通アクセスの向上により企業誘致や移住・定住の促進が図られるとともに農業地域として農産物等の輸送にも多大な効果が見込まれる。地域における高次医療施設等への救急搬送時間が大きな課題となっているが、本整備により速達性も確保され、まちづくりに与える影響効果は大きく、地域の活性化が図られることから早期なる着工完成を強く望む。</p>
俱知安町	<p>生活面では、地域医療で高度救急医療施設のある札幌市や小樽市への搬送時間の短縮、走行性の向上が図られるほか、防災面に関しては有珠山噴火や泊原発事故時における代替ルート・避難ルート・災害支援ルートが確保されます。産業面では、観光で新千歳空港から二セコ地域への移動時間の短縮と二セコ地域から道央、道南方面を含めた各観光地への周遊観光の魅力が一層増します。物流の向上や主要都市・拠点間の交流も高まります。将来の北海道新幹線倶知安駅開業とともに観光や農業、新たなビジネス交流を安定的・飛躍的に展開する基盤となることが期待されます。</p>
共和町	<ol style="list-style-type: none"> 物流の安全性と速達性の向上 大規模災害時における避難ルートの複線化による住民の安全・安心の確保 高次医療施設への速達性の向上
仁木町	<p>問1の設問で全て網羅されている。</p>
余市町	<p>自動車交通への依存度が高い後志において、北海道横断自動車道の早期整備による広域的な高速交通網の形成は大変重要な意義を持っており、後志地域が全国の食糧基地としての役割を果たしている中で、大都市圏への輸送時間の短縮による、農林水産品等の安定的な輸送と市場圏の拡大による地域産業の振興を図り地域の活性化につなげたい。また、豊かな自然や地域性等を生かした観光リゾート基地として位置付けられる後志地域と、道央圏及び道東地方の主要観光地との観光ネットワークの形成により、地域経済の活性化が大きく期待される。さらに、札幌市や小樽市を始めとする道内主要都市への所要時間の短縮等により、日常生活の利便性の向上と文化交流の促進と札幌市等における高次医療の利用や救急患者の安定した搬送、あるいは有珠山噴火時における北海道縦貫自動車道の代替ルートとしての利用など、救急医療、防災上の観点からも、本町をはじめ後志管内、更には北海道全体の振興発展に、大きく寄与するものと考えている。</p>

13) 高規格道路の利活用について

※なお、ご意見について、政策目標に関する記載を次の分類で着色させていただいた **医療 観光 物流 防災 拠点間交流**

町村名	道路整備による利活用に関する意見
小樽市	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽港は日本海側の拠点港として観光クルーズ客船の誘致に力を入れているところであり、フェリーなどを含め、小樽港を広域観光の起終点として、高速道路を使った利用促進を図りたい。 ・医療過疎が進む後志においては、小樽市への救急搬送のうち脳神経外科へ搬送される割合が40%を超えているが、後志管内の基幹病院である市立小樽病院は、平成26年度に脳神経外科などを含んだ小樽市立医療センターと統合新築予定であるため、黒松内～余市間を高速道路で整備することにより、カーブや振動が減少し、搬送時間が短縮されるなど、充実した救急医療が可能となる。また、後志管内で唯一の災害拠点病院でもある市立小樽病院は、大震災などの災害時には、被災者を素早く受け入れなければならないため、高速道路がその役割を果たす。域住民の病気や災害に対する不安を軽減し、安全で安心した快適な日常生活を送るために、「命の道」としての高速道路の活用を図っていく。
島牧村	<p>後志最南端に位置する島牧村としては、くらし面において高次医療施設がある札幌圏への搬送時間が短縮され、安心な生活が確保される。札幌市や新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアの速達性の向上により、ニセコエリアを拠点とした本村への新たな観光ルートの確立が見込まれ、交流人口の増加による地域活性化が期待できる。また、交流人口の増加により移住候補地としての価値が高まる。物流面においては安全性・速達性・確実性が向上することにより、付加価値された農水産品輸送の増大が見込まれ、地場産業の活性化が期待できる。</p>
寿都町	<ul style="list-style-type: none"> ○産業・経済振興 <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏への新鮮な地場産品輸送の効率化により、基幹産業の振興を推進する。・SA、PAにおける地域特産品のPR促進及び地域食材の活用により、地域への観光客導入を促進する。・高規格道路の最大のメリットである走行時間短縮を活かし、地域が連携した体験型観光の推進により、集客機能の向上を図るとともに交流人口の増加を促進する。・誘客促進キャンペーン等情報発信及びイベント開催等により地域の魅力を発信し、旅行機会増進による地域社会活性化を促進する。 ○安心安全の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が発生した際の道路交通手段確保により、住民の安全を確保する。・アクセス時間の短縮により、高次医療圏への医療・救急体制の向上を図る。 ○環境保全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・PAやSAにおけるEV給電設備等への風力発電等自然エネルギーの活用を促進する。
真狩村	<ul style="list-style-type: none"> ○小樽・札幌の医療機関への救急搬送迅速化を図り、人命救助に役立てたい。 ○札幌方面からの当地域への所要時間が短縮できることにより日帰り来訪者の滞在時間が延長でき、フットパスやツーリズムなどの自然と触れ合う活動をエンジョイしていただき、地域活性化につなげたい。 ○新鮮度の農産物の出荷・搬送による収益増を図る。
留寿都村	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療が変わることができる ・観光において札幌を中心に北海道観光コースが広がる。 ・収穫してすぐの食材の味覚を味わいに来てもらえる。
喜茂別町	<p>単独町村の活性化策からエリアの活性、連携が求められる。さらに観光としては、滞在型から日帰り移動となるため目的地の分散が望めるので新たなまちづくりができる。一方で、ストロー現象への対策を考えなければならなくなる。</p>
京極町	<p>札幌市や小樽市にある高次医療施設への搬送時間が短縮されることにより、住民が安心して生活できる医療環境を確保することができる。また、新たな観光ルートの開発にもつながることから、ニセコエリアの活性化を図ることができる。</p>
岩内町	<p>地域医療:札幌、小樽などの高度医療機関への搬送時間短縮による、より安全・安心な住生活環境の実現。 観光:小樽、積丹、ニセコの各圏域との連携強化による広域観光の推進。また、観光客の約75%を占める日帰り層の増加を図るための諸対策の実施。 港湾活用:岩内新港地区へのアクセス性向上による、港湾施設の活用促進および工業団地への企業誘致活動の推進。</p>
泊村	<p>札幌市等への時間の短縮(防災・医療・観光・物流等)</p>
神恵内村	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌圏からの日帰りレジャー客や新千歳空港からの道外・国外観光客の周遊アクセスが向上し、集客増が見込まれる。 ・重篤救急患者を高度医療機関のある小樽市や札幌市へ搬送する際、現道における峠部の急カーブや高低差、市街地の混雑等に伴う患者の負担が軽減され、より安全な高速走行が可能となり、搬送時間も大幅な短縮が見込まれる。 ・災害時における南回りルートの代替機能が発揮され、国道や道道など迂回ルートの渋滞緩和、交通事故防止、物流コストの軽減を図ることができる。特に震災後の迅速な復旧活動や、万一の原子力災害時の広域避難道路として期待できる。
積丹町	<p>横断自動車道(黒松内～余市)の整備により、ニセコ地区を訪れる観光客の速達性の向上が図られ、積丹半島、小樽市への周遊が便利となり、ニセコ・積丹・小樽を結ぶ道路沿線の観光振興が期待できる。このことから、小樽・ニセコ両方面から積丹町方面・国道229号へのアクセス性を配慮したインターチェンジの設置が必要である。</p>
古平町	<ul style="list-style-type: none"> ・道南で漁獲されるスケトウダラ(近海物)の物流で、時間短縮が図られ、水産加工業の振興に寄与できる。 ・積丹、古平は東北出身者で形成された町であり、新幹線や高規格道路を通じて東北地方との交流の活性化が図れる。 ・日本海と噴火湾(太平洋)がきわめて近くなり、すばらしいビジネスチャンスが期待できる。
赤井川村	<p>リゾートに主眼を置いた町づくりをしているので、横断道ができれば、函館方面から入りやすい、ニセコと繋がるといったメリットが考えられ、時間短縮や利便性の向上が期待できる。</p>

14) 高規格道路の利活用について

問6. (関係団体)北海道横断自動車道(黒松内～余市)が整備された場合、どのように利用して地域活性化を図ることが考えられるか、事業の効率化などの観点からお考えをお聞きした。

※なお、ご意見について、政策目標に関する記載を次の分類で着色させていただいた **医療** **観光** **物流** **防災** **拠点間交流**

関係団体名	道路整備による利活用に関する意見
小樽商工会議所	道央自動車道との連結による環状ルートの形成に加え、道南と道央さらには道北・道東を結ぶルートが複線化され、交通量の増加が見込まれる。また、 大震災や有珠山の噴火などの場面では、代替となる重要な機能を発揮することが可能になるとともに道央経済圏の食糧供給のほか、道内観光入込客数の15%を占める後志において国際観光文化リゾート基地としての道内他地域及び道外との交流連携に大きな役割を果たすこととなる。 加えて、 後志管内から平成26年開業予定の新市立病院及び脳神経外科を含めた救急搬送を行う上での必要性は高いことや国際コンテナが通行可能になることによる効率化からの経済効果は大きい。
余市商工会議所	緊急時の札幌市等における高次医療利用のため、余市町農道離着陸場の使用によるヘリコプターと高速道路の併用による救急患者の一刻も早い安定した搬送方法の確立や、北海道を代表する当町の農水産物の安定的な輸送及び時間短縮により新鮮な商品が消費地へ届けられ地域産業の振興が図られる。
岩内商工会議所	札幌、函館方面から新鮮な野菜類、魚介類の物流が盛んになるため、岩内港を使った海外貿易も拍車をかけたい。
倶知安商工会議所	①後志で生産された豊かな農水産物を、小樽港、苫小牧港、新千歳空港へ短時間で輸送でき、食糧基地としての後志の活性化につながる。②後志地域の商工業は、商品・原材料を小樽、札幌、苫小牧方面から調達している。黒松内～余市が整備されれば輸送時間の短縮によりコストが下がり、経営の安定につながる。
黒松内町商工会	黒松内町は、札幌と函館の中間地点に位置しており、都市部に集中している物流関係施設から排出・運搬される物資のストックヤード等の団地を造成し物流機能の向上等、物流拠点とした地域整備し地域の振興を図る。また、寿都・島牧方面からは黒松内ICを、岩内方面から共和町(国富付近)のICを利用し「生きた魚」を千歳空港経由で築地や東南アジアに搬送し地域振興を図る。
蘭越町商工会	高速交通ネットワークの整備により、道内外の人・物の流通をはじめ、地域間交流の活性化や商工業・観光振興が期待され、地域経済に果たす役割は大きい。
二セコ町商工会	後志地域へ観光客の入込増大につながる。年の医療機関利用頻度が増大する。
仁木町商工会	道央(札幌市)と道南(函館・本州)の高速道路利用距離が約66km短縮され大型貨物車の利用が促進され流通に高速道路の果たす役割が飛躍的に期待される。時間にして約50分、経費にして燃料タイヤの消耗で約3,000円位で通過台数を掛けますと大きな経費の節減効果が見込めます。
観光連盟	・海外や道外からの観光客向けの二セコエリア～新千歳空港間のバス・レンタカー等による利用 ・函館～二セコ～小樽～札幌間のアクセスの向上による、新たな観光ルートの形成 ・二セコエリアの長期滞在客による周辺地域観光(札幌、小樽等)の際の自家用車・レンタカー等による利用
バス協会	倶知安・二セコ、更には函館方面への観光アクセスとして、経済性や利便性が非常に高い。具体的には、 近距離都市間バスの運行、長距離高速バスの増便と利用者の利便性向上、観光エリアの拡大等の効果が期待できる。
(社)北海道トラック協会	原発事故発生時の避難路
手稲溪仁会病院	・ 救急医療の高速化が図れる ・ 医師不足である地域への医師派遣だけでなく、医師が札幌から通勤できるエリアとなるのではないかと考える。
北後志消防組合消防本部	・ 件数は多くありませんが、岩内、倶知安方面への救急搬送時間の短縮。 ・ 災害時における救援等の移動経路として活用。
岩内・寿都地方消防組合消防本部	高次医療施設への到達生が向上する。大規模災害時の代替ルートとして期待される。
羊蹄山ろく消防組合消防本部	近年、当組合に於ける小樽市並びに札幌市内医療機関への救急搬送件数は増加傾向であります。例として札幌市内へ搬送する場合、出勤から帰署までの所要時間は概ね4時間であり、冬期間については、更に時間を要します。その間、別件の出勤要請があった場合、他町村からの応援要請を行っているところであります。 整備されることによって、患者への負担軽減及び搬送時間の短縮に繋がることとなります。

15) その他のご意見

問7. (市町村)その他のご意見についてお聞きした。

※なお、ご意見について、政策目標に関する記載を次の分類で着色させていただいた **医療 観光 物流 防災 拠点間交流**

町村名	その他のご意見
蘭越町	町長に就任以来、6期にわたってこの課題に取り組んできました。私は、歴史の1ランナーではありますが、1日も早い実現を切に願っております。
倶知安町	前問の回答のとおり、北海道横断自動車道(黒松内～余市)の整備は本町並びに本地域の今後の地域活性化に大きな効果を与えることから、早期整備を強く要望します。 ※前問(問6)の該当部分を抜粋 「…産業面では、 観光で新千歳空港からニセコ地域への移動時間の短縮とニセコ地域から道央、道南方面を含めた各観光地への周遊観光の魅力が一層増します。物流の向上や主要都市・拠点間の交流も高まります。 …」
仁木町	このような重要な施策は、地方の要望を受けて進めるべきものではなく、国策として方向性を定めていくものとする。国として必要な道路なのか指針を示すべきである。
小樽市	当面、現道を活用するとされている黒松内～倶知安については、道央自動車道と連結することにより環状ルートが形成され、道南と道央、さらには道北や道東とを結ぶルートの複線化により、それぞれが代替機能を発揮することになるため、 災害面 や 広域観光 においても、早期整備をお願いしたい。
神恵内村	<ul style="list-style-type: none"> 出来る限りの早期完成をお願いしたい。 安全性の確保に十分配慮した線形・構造にしていきたい。
古平町	高規格道路の先発後進地域で、近年、要請から相当の年数が経過しており、早期のゴーサインをお願いしたい。
赤井川村	なるべく早く完成してほしい。

16) その他のご意見

問7. (関係団体)その他のご意見についてお聞きした。

※なお、ご意見について、政策目標に関する記載を次の分類で着色させていただいた **医療 観光 物流 防災 拠点間交流**

関係団体名	その他のご意見
小樽商工会議所	小樽ジャンクションについては事業者のコスト削減等により、当初計画の「フルジャンクション」から札幌方面ランプのみの「ハーフジャンクション」に変更された。 これにより余市方面からの車両が小樽市街地に入るには、中心部から数キロメートル手前の小樽西IC(仮称)で降りるか、あるいは中心部を通過して札幌との境界に近い銭函ICで降りるしかなく、十分な整備効果が発揮されない。 上記利活用に対する意見に加え、 観光クルーズ客船の誘致やフェリーを含む小樽港の利用促進、広域観光推進などのあらゆる面での効果が期待できる ことから小樽ジャンクションのフルジャンクションでの整備実現を強く要望する。
岩内商工会議所	道路網については岩宇地方の大きな課題です。ぜひ早急に整備していただきたい。
ニセコ町商工会	余市、倶知安間に限らず、黒松内までの区間の早期実現を願う。
共和町商工会	余市町から黒松内町という限られた路線の日本海側の近隣町村では、道南へのルートとして、国道5号線より 国道229号線を利用することが多い 。しかし、この国道は夏期の降雨、冬期の悪天候でしばしば不通となる。このようなことから、 天候に左右されず確実に通行、利用できるこのルートは非常に魅力的である 。
仁木町商工会	道路の整備は地域エゴが出やすいものです。東京の人には北海道の道なんか要らない、市街地の人には郊外の道は要らないと言われますが、道路は国土の利用効率を高めるためには必要不可欠です、そのためには将来の国づくり、食料づくり、人づくりのためには政治的決断の時ではないでしょうか。田舎で日本を支える産業に携わる人にも希望と安心をお願いします。
バス協会	観光面からみて、観光地・温泉地、農水産物などと連携した、新たな観光ルート作りが考えられる 。ルート及び道路構造は、安全を最重視し、可能な限り単純かつシンプルなものとするべきである。また、公共交通網の利用を視野に入れ、バスベイの併設を視野に入れた整備をお願いしたい。
手稲溪仁会病院	当院は道央ドクターヘリの基地病院としての役割を担っております。その基地病院としての要望を3点列挙します。 ①高規格道路上での事故への対応のみならず、 悪天候時のランデブーポイントとしてのヘリポートの設置 。② 災害時情報通信システム等のコラボ 。③ 救急車とドクターカーのドッキングポイント及びシステム形成 。
北後志消防組合消防本部	・ICの他、救急車両の出入り口の設置。 ・交通事故等に対して、救急搬送ヘリの離着陸場の設定や道路上への離着陸の許可。

2. アンケート調査

属性・回収率等

1) アンケート調査結果

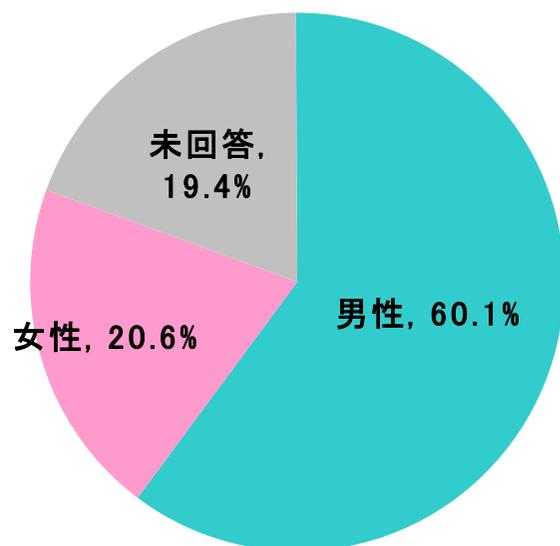
アンケート調査票 市町村別回収数

分類	市町村	回収数
沿線7町	黒松内町	122
	蘭越町	132
	二七コ町	188
	俱知安町	672
	共和町	259
	仁木町	166
	余市町	299
	7町合計	1,838
その他後志管内 13市町村		1,012
道内(後志管外)市町村		51
道外		0
未記入		101
計		3,002

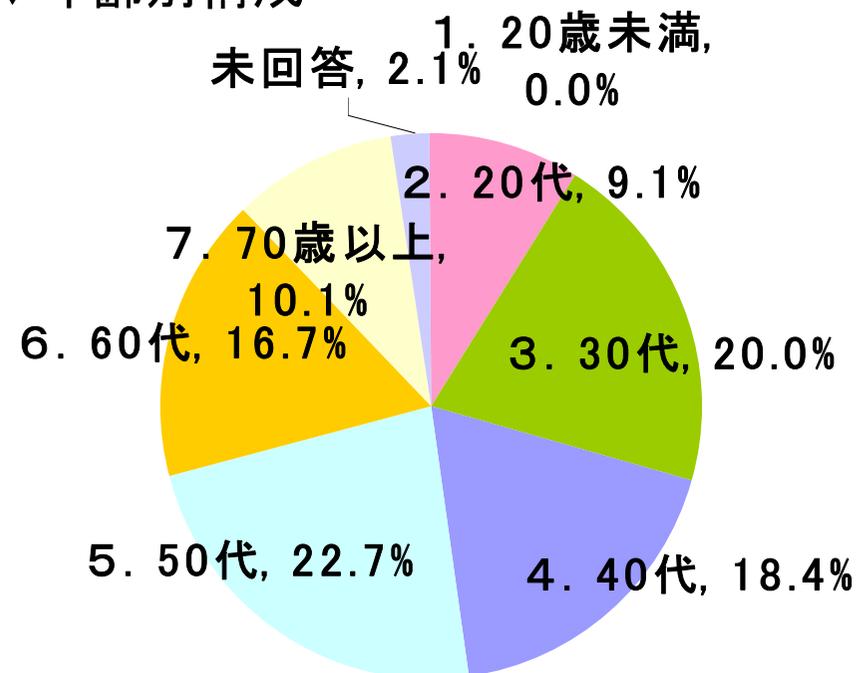
2) 回答属性

- アンケートの属性毎の結果を次ぎに示す。
- 性別構成は男性が多く、年齢別構成は年代別にほぼ均一。

▼性別構成



▼年齢別構成

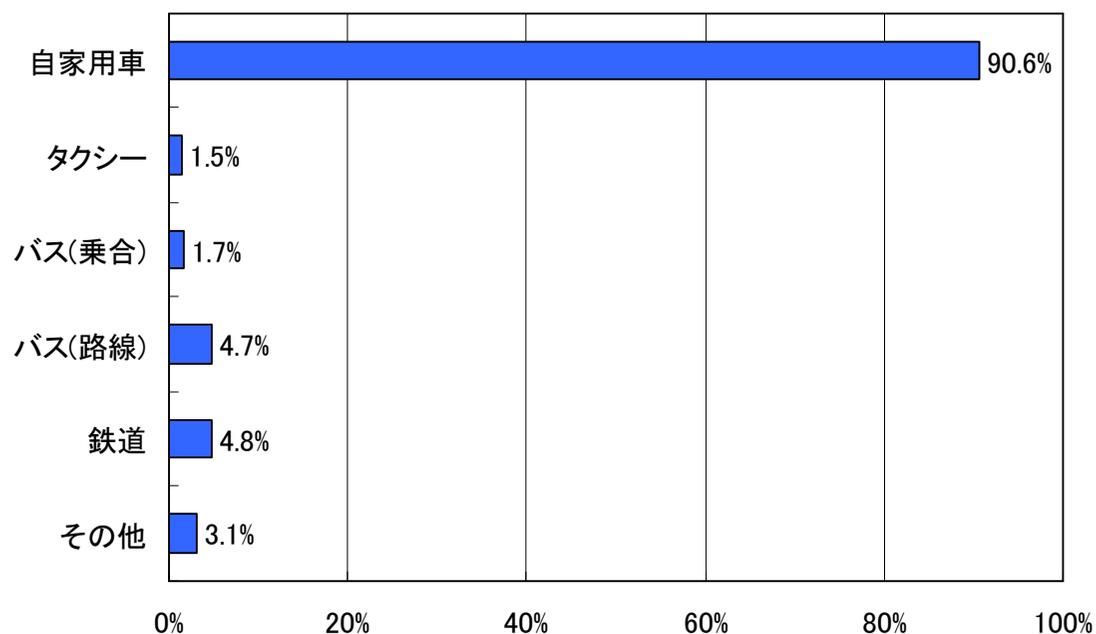


3) 回答属性

○日常の移動手段としては、約91%の人が自家用車を利用。

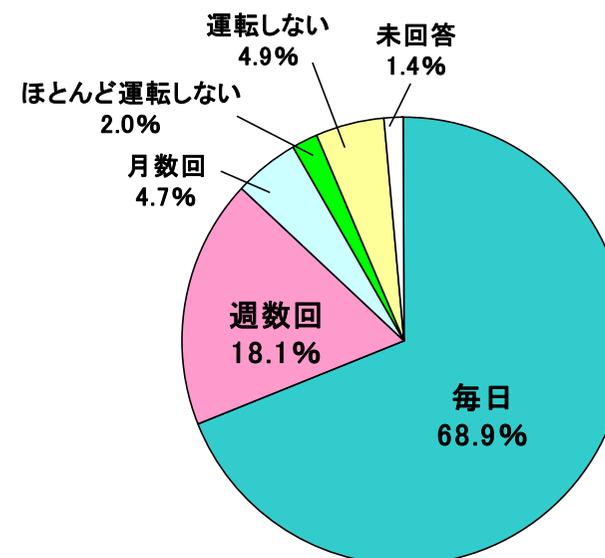
○自動車の運転頻度は、毎日が約69%、週数回が約18%。(週数回以上の人が約87%)

▼日常の移動手段



(注)複数回答可能のため、全回答者数に対する選択率で表示。

▼自動車の運転頻度

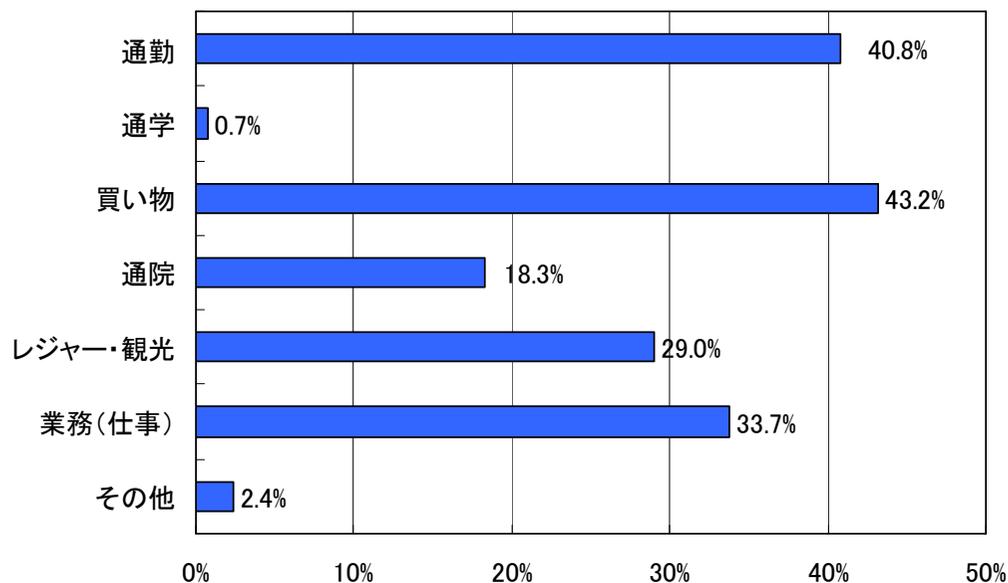


4) 回答属性

○道路の利用目的は、買い物で道路を利用する人が約43%、通勤で道路を利用する人が約41%。

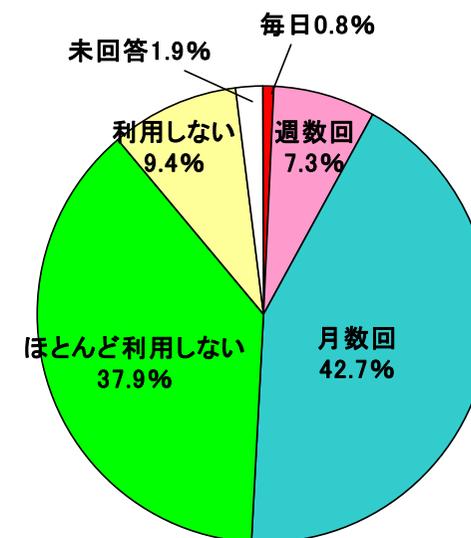
○高速道路の利用頻度は、月数回が約43%、週数回は約7%。

▼道路利用の目的



(注) 複数回答可能のため、全回答者数に対する選択率で表示。

▼高速道路の利用頻度



3. アンケート調査結果

(沿線7町、その他市町村)

1) アンケート概要

- 地域住民として、直接的に関係する沿線7町には全世帯配布
- 道路利用者として、地域課題として共通認識を持つと想定される後志地域のその他自治体(13市町村)を含め、後志地域20市町村の庁舎・道の駅などにおける据え置き配布を実施。
- 政策目標(案)と関連性の高い各団体に配布
- 幅広い方々からの意見を収集するため、WEBアンケートを実施

対象	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線7町住民 <ul style="list-style-type: none"> ・黒松内町 ・蘭越町 ・ニセコ町 ・倶知安町 ・共和町 ・仁木町 ・余市町 ■その他後志管内13市町村住民及び一般道路利用者
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線7町は全世帯配付 ■その他後志管内市役所、役場及び後志管内の道の駅、医療施設等の公共施設などにおいて据え置きにて実施 ■北海道開発局ホームページでWEBアンケートを実施
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ■配布・回収期間：平成23年9月22日～10月21日
配布・回収票数	配布票数：29,780票 回数票数：3,002票（平成23年10月21日付け消印まで） 票数内訳（郵送2,323票、投函箱655票、WEBアンケート24票）
設問項目	<ul style="list-style-type: none"> ■政策目標(案)について ■当面の整備方針(案)について ■通過位置の基本的な考え方(案)について ■連結位置の基本的な考え方(案)について ■比較ルート(案)について ■その他のご意見

▽対象地域

沿線7町	その他市町村
黒松内町	島牧村
蘭越町	寿都町
ニセコ町	真狩村
倶知安町	留寿都村
共和町	喜茂別町
仁木町	京極町
余市町	岩内町
	泊村
	神恵内村
	積丹町
	古平町
	赤井川村
	小樽市



2) 後志地域における政策目標(案)の重要性

【設問 1】

後志地域の政策目標を設定しましたが、重要だと思われるものを全てお選び下さい。(複数回答)

【結果】

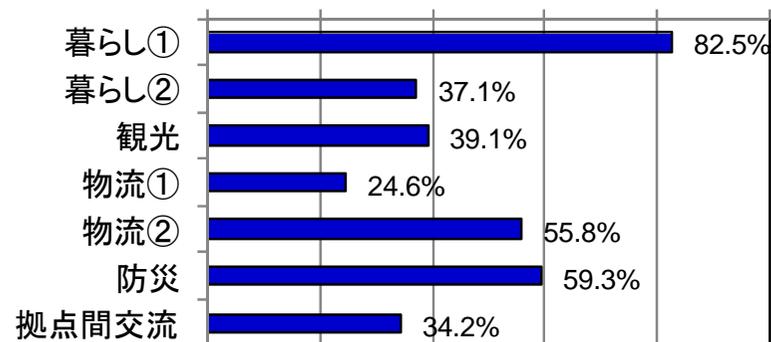
選択項目	沿線7町住 在	その他 市町村在住	合 計	
1. 暮らし①:後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮	1,527	951	2,478	
2. 暮らし②:市街地、線形不良区間における走行性向上	692	422	1,114	
3. 観光:新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性向上	802	372	1,174	
4. 物流①:国際コンテナの通交支障区間の解消	511	226	737	
5. 物流②:峠部・市街地部などの通交支障区間解消による速達性・安全性の向上	1,039	636	1,675	
6. 防災:北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認	1,160	620	1,780	
7. 拠点間交流:道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保	700	328	1,028	
8. 回答なし	44	29	73	
合計	6,475	3,584	10,059	
	回答者総数(人)	1,838	1,164	3,002

▼重要と思われる政策目標(案)

【地域住民・道路利用者】

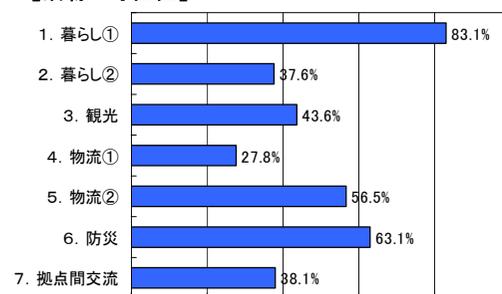
N=3,002

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



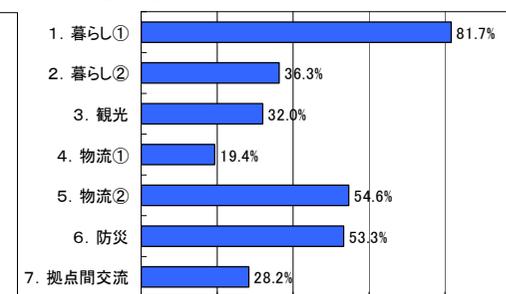
【沿線7町在住】

N=1,838



【その他市町村在住】

N=1,164



(注)複数回答のため、全回答者数に対する選択率で表示

3) 当面の整備方針(案)の妥当性

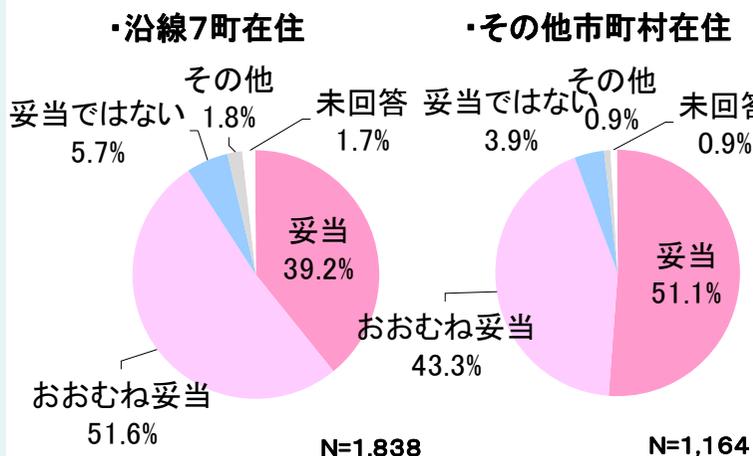
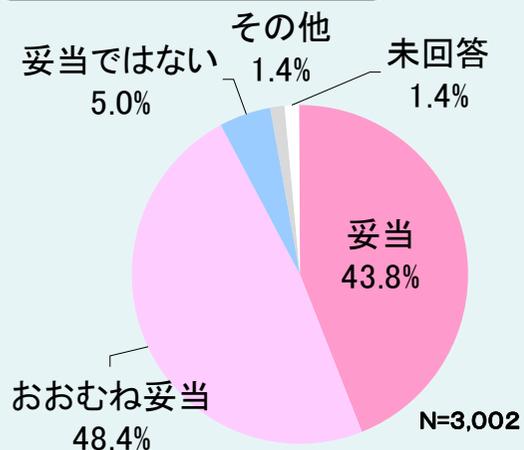
【設問 2】

政策目標を効果的に達成していくため、当面の整備方針として「政策目標に対する現道の使われ方からの評価」や「現道課題からの評価」を行い、課題が大きい区間(倶知安～余市間)については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間(黒松内～倶知安間)については、当面現道を活用する案を設定しましたが、あてはまるものを一つお選びください。

【結果】

選択項目	沿線7町在住	その他市町村在住	合計	フリーアンサー
①. 妥当	720	595	1,315	0
②. おおむね妥当	949	504	1,453	0
③. 妥当ではない	105	45	150	140
④. その他	33	10	43	42
⑤. 回答なし	31	10	41	0
合計	1,838	1,164	3,002	182

地域住民・道路利用者



▽「妥当ではない」「その他」のフリーアンサー

意見の主旨	票数	全体に対する構成比
黒松内～倶知安についても別線整備が必要	78	2.6%
現道活用では時間短縮が図れない、現道活用は交通安全面や冬期交通が不安	13	0.4%
現道に問題がある、現道の整備やバイパスが必要	18	0.6%
本計画以外を含む今後の道路整備への要望など	20	0.7%
費用対効果が疑問、限定的な整備で可	12	0.4%
現状のままで良い、整備の必要なし	24	0.8%
その他	17	0.6%
合計	3,002	100%

4) 通過位置(案)における配慮事項の妥当性

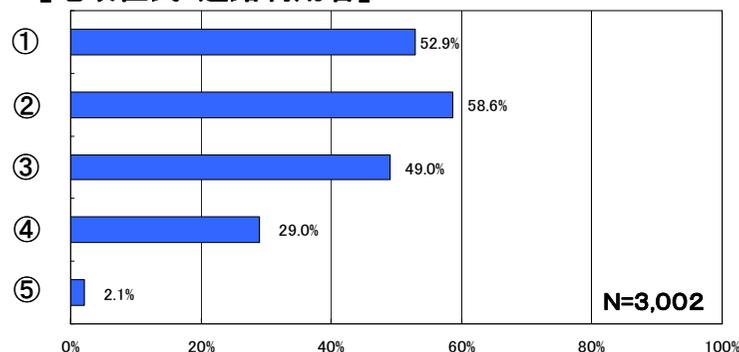
【設問 3】

通過位置(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

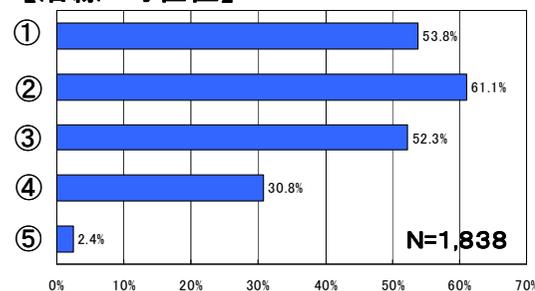
【結果】

選択項目	沿線7町在 住	その他 市町村在 住	合 計	フリーアンサー
①. 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮	989	599	1,588	0
②. 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮	1,123	635	1,758	0
③. 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮	962	510	1,472	0
④. その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮	566	305	871	0
⑤. その他(具体的な内容記入)	45	17	62	61
⑥. 回答なし	41	42	83	0
合計	3,726	2,108	5,834	61
回答者総数(人)	1,838	1,164	3,002	61
うち自由回答(人)	44	17	61	61

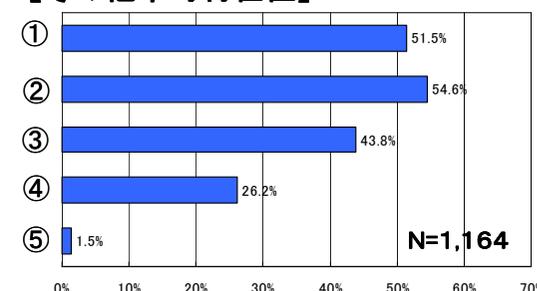
▼通過位置(案)の検討において妥当と思われる配慮事項 【地域住民・道路利用者】



【沿線7町在住】



【その他市町村在住】



「その他」における意見
 (全体に対する構成比(2.0%))

- ・防災、災害時の利活用の視点などの意見
- ・市街地への連結など利便性に関する意見
- ・最短、直線ルートにすべきとの意見
- ・現道活用で足りる又は整備不要などの意見 など

(注)複数回答可能なため、全回答者数に対する選択率で表示。

5) 連結位置(案)における配慮事項の妥当性

【設問 4】

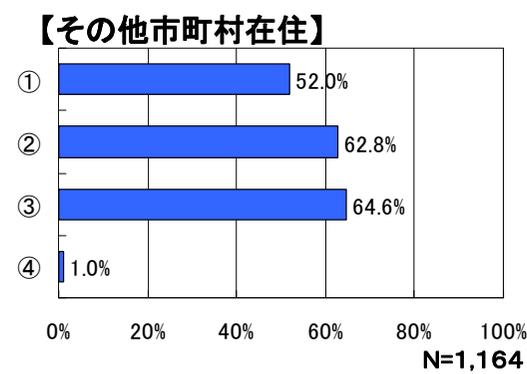
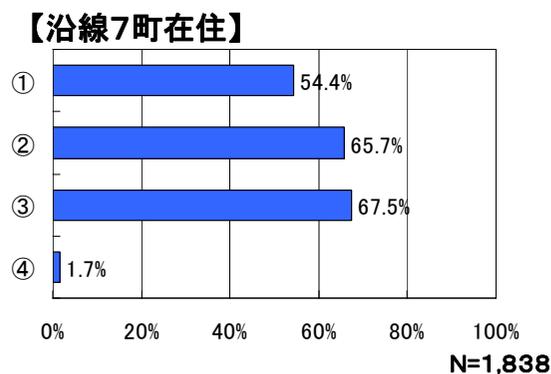
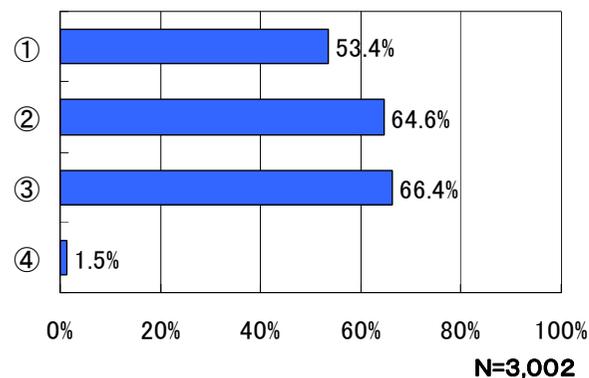
連結位置の基本的な考え方(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

【結果】

選択項目	沿線7町在	その他市町村在住	合計	フリーアンサー	
①. 市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性	999	605	1,604	0	
②. 各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な主要幹線道路との接続	1,208	731	1,939	0	
③. 災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続	1,240	752	1,992	0	
④. その他(具体的な内容記入)	29	12	41	41	
⑤. 回答なし	43	31	74	0	
合計	3,519	2,131	5,650	41	
	回答者総数(人)	1,838	1,164	3,002	41
	うち自由回答(人)	29	12	41	41

▼連結位置(案)の検討において妥当と思われる配慮事項

【地域住民・道路利用者】



「その他」における意見
全体に対する構成比(1.3%)

・泊方面等のアクセス性を良くするとの意見
・現道活用で足りる又は整備不要などの意見 など

6) 比較ルート(案)に対する評価

【設問 5】

当面の整備方針(案)をもとに、別線整備が必要な区間として『倶知安～余市IC』を設定し比較ルートを設定しましたが、2つの案についてどう思われますか。あてはまるものを一つお選びください。

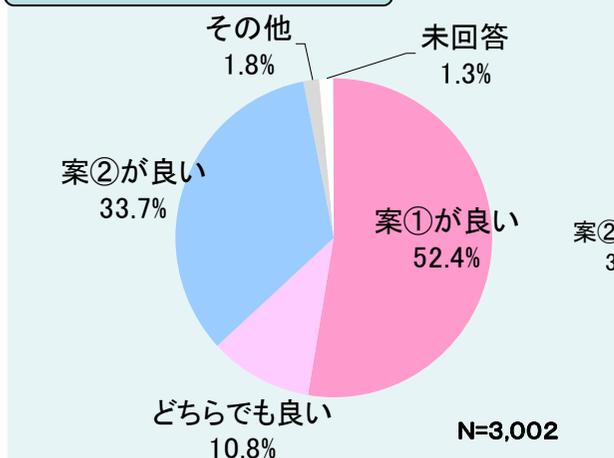
【案①】共和町・岩内町方面(国道276号)からのアクセス性を重視したルート

【案②】道央と道南方面を連絡する際など路線延長短縮による時間短縮を重視したルート

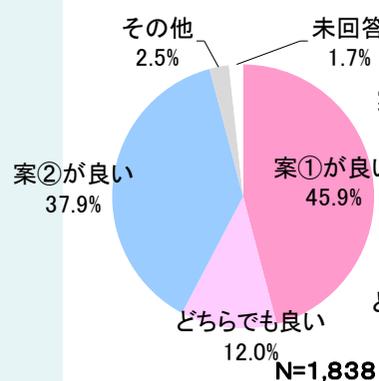
【結果】

選択項目	沿線7町在住	その他市町村在住	合計	フリーアンサー
1. 案①が良い	843	731	1,574	1
2. 案②が良い	696	315	1,011	2
3. どちらでも良い	221	102	323	1
4. その他(具体的な内容記入)	46	8	54	52
5. 回答なし	32	8	40	0
合計	1,838	1,164	3,002	56
回答者総数(人)	1,838	1,164	3,002	56
うち自由回答(人)	47	9	56	56

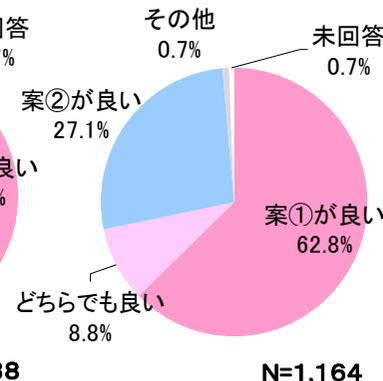
地域住民・道路利用者



・沿線7町在住



・その他市町村在住



▼フリーアンサー

【沿線7町在住】

意見の主旨	票数	全体に対する構成比
泊原発との関係を考慮すべき	4	0.2%
ルートの再考、再検討が必要	7	0.4%
情報が少なく判断できない	3	0.2%
別線整備の必要なし	26	1.4%
その他	7	0.4%
合計	1,838	100.0%

【その他市町村在住】

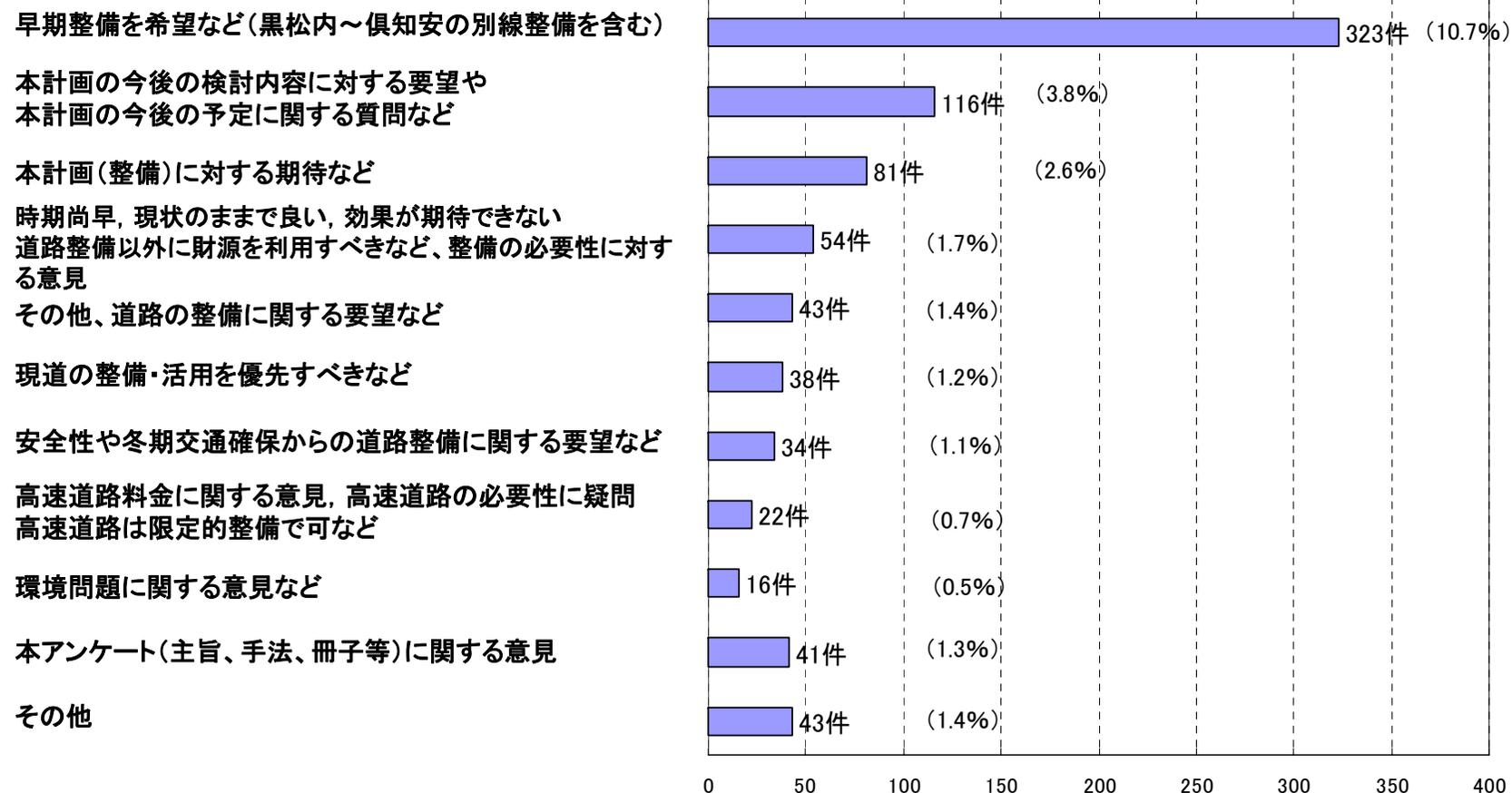
意見の主旨	票数	全体に対する構成比
情報が少なく判断できない	2	0.2%
別線整備の必要なし	5	0.4%
その他	2	0.2%
合計	1,164	100.0%

7) その他のご意見

○「その他のご意見」への記載は、延べ811件。(1人で複数記入の場合あり)

○記入が多かった内容は、早期整備を希望や、今後の検討内容に対する要望等の意見が見受けられた。

▼主な意見(主旨)



※()は、ご意見をいただいた方(3002人)に占めるその他のご意見の件数比